市政トピックス

学芸員（嘱託職員）を募集

美術または、動物・地質に関する資料の収集、保管、展示、調査研究に従事する学芸員を募集します

募集職種・人員　学芸員　2人（美術1人、動物・地質1人）

採用予定　平成25年4月1日

応募資格　●博物館法に規定する学芸員資格を有するか、当該資格を平成25年3月31日までに取得見込の方　●普通自動車運転免許を有する方　●地方公務員法第16条に定める欠格事項に該当しない方

必要書類　①受験申込書　②受験票　③学芸員資格を有することを証明する書類（資格取得見込の方は、資格取得見込証明書など）　④返信用封筒（長形3号に宛名を記載、80円切手を貼り付け）　※①②は指定用紙です。学校教育部総務企画課で配布（HPからダウンロード可）

申し込み・詳細　提出書類を12月3日(月)～28日(金)に郵送（消印有効）または直接（土・日曜日、祝日を除く）　〒053-0018　旭町4丁目4番9号　学校教育部総務企画課　TEL(32)6739

学校給食配膳員を募集

業務　給食コンテナの受け渡し、配膳など

募集人員　11人程度

任用期間　平成25年4月1日から6カ月間　※業務上必要な場合は更新あり

申し込み・詳細　12月3日(月)～12日(水)（土・日曜日を除く）に総務企画課にある申込書（HPからダウンロード可）で直接　学校教育部総務企画課　TEL(32)6739

保育園のパート給食調理員を募集

募集人員　1人

任用期間　平成25年4月1日から6カ月間　※業務上必要な場合は更新あり

勤務先　苫小牧市立保育園のいずれか

応募資格　市内在住の、健康で業務内容に耐えうる体力のある方

必要書類　①苫小牧市臨時職員任用申込書　②作文「給食調理員を希望した動機と給食に対して思うこと」　③返信用封筒（80円切手を貼り付け）※①②は指定用紙です。子育て支援課で配布（HPからダウンロード可）

賃金　時給910円（平成24年10月1日現在）※変更になる場合があります

勤務時間　1日6時間（9時～15時）

休日　日曜日、祝日

社会保険　労働災害保険、社会保険、雇用保険

選考方法　●第1次選考＝書類選考（2月初旬までに結果を通知）　●第2次選考＝面接試験（1次の書類選考で選ばれた方を対象）　※最終結果は、2月下旬までに通知します

申し込み・詳細　12月10日(月)～平成25年1月18日(金)（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）に子育て支援課で配布の任用申込書と作文を直接　子育て支援課　TEL(32)6378

市民のみなさんから意見を募集します

■環境基本計画の改訂・地球温暖化対策地域推進計画の中間見直しを行うための案について、パブリックコメントを募集します

申込用紙配布　環境保全課（旭町2丁目9番12号）、勇払出張所、のぞみ・沼ノ端・住吉・豊川コミセン、植苗ファミリーセンター（環境保全課HPからダウンロード可）

申し込み・詳細　12月25日(火)～平成25年1月25日(金)に直接または郵送（消印有効）、ファクス、Eメールで　環境保全課　TEL(36)8801　FAX(36)8803　✉kankyo-hozen@city.tomakomai.hokkaido.jp

■「苫小牧市下水道条例施行規則」および「苫小牧市水道事業給水条例施行規則」の一部改正（案）についてパブリックコメントを募集します

資料配布　上下水道部総務課、下水道計画課、水道管理課（HPからダウンロード可）

申し込み・詳細　12月10日(月)～平成25年1月9日(水)に郵送（消印有効）、ファクス、Eメールで　上下水道部総務課　TEL(32)6628　FAX(37)1661　✉su-soumu@city.tomakomai.hokkaido.jp

市長コラム　勇往邁進

苫小牧市長　岩倉 博文

～人の力がまちをつくる～

11月14日(水)、平成24年度苫小牧市技能功労者表彰式が開催されました。昭和60年から続くこの表彰は、各分野における技術向上や後進の育成はもちろん、地域社会に大きく貢献するなど、人格的にも模範となる方を対象とするものです。

工業都市である苫小牧は、陸・海・空の交通の要衝としての立地的優位もありますが、各種学校・職業訓練センターや、最先端の機器で地域の技術者を支えるテクノセンターなどがあり、技術を高め育てる環境が備わっていることが強みとなっています。そして何よりも、苫小牧をここまで成長させてきた一番の原動力となっているのが、今回表彰されたみなさんのような、高い意識と技術力を併せ持つ多くの「職人」であることを改めて感じているところです。

今回6名の方に、これまでの多大なる功績に感謝するとともに、今後の後進の育成や更なる活躍への期待を込めて表彰状と記念の盾を贈呈させていただきました。これからも「苫小牧の高い技術力」を支えるため、産・学・官がバランスよく手を取り合い、豊かな人材を生かせるような環境整備に努め、まち一丸となった苫小牧づくりに取り組んでまいります。